

ありがとうリスペクトキャンペーン

1. ねらい

ミニバスケットボールのゲームと一緒にプレイしてくれる仲間や関係者に対して、いつも感謝の気持ちを持ってプレイすることの大切さと素晴らしさを伝えていく。

2. 理由

競技登録者数 15 万人の児童が全国各地で数多くの大会やゲームに参加しているが、「暴力根絶に向けて」等の指導文書や都道府県ミニ連からも幾度と無く指導文書が発せられているにもかかわらず、指導者や保護者のトラブルや不祥事が本連盟に寄せられている。

多くの児童や指導者は、「友情・ほほえみ・フェアプレー」の精神にのっとり活動している中、ごく一部ではあるが、ゲーム終了後、相手チームの児童に対して感謝の気持ちやありがとうの声をかけられないケースや相手チームの児童に誹謗中傷、蔑むような行為に及ぶことも見受けられる。

勝敗にこだわり、勝てないチームの指導者は良い指導者ではないといった勝利至上主義等、指導者や保護者がジュニアスポーツにおける正しい知識や見識の欠如がこうしたことを引き起こしていると思われる。

関係者全員がミニバスケットボール本来の命題である普及・育成活動に邁進することを望み、標記キャンペーンを実施するものとする。

平成 25 年 3 月 27 日

全国理事各位

日本ミニバスケットボール連盟

理事長 坂本昌彦